

# 研究活動における不正の 抑止と信頼性向上の為に

文科省により研究不正防止の為にガイドラインが改めて策定されてから10年が経過し、各機関単位での研究不正対策は既に一般化しています。一方で、不正とされる行為自体が2015年以降に行われた例も含め、研究に関わる不正の事例は報告され続けています。近年は、特定不正行為には含まれないが「不適切」とされる、いわゆるQRPに含まれる行為も含めて処分される例もあり、研究者にとっては自らの研究活動における行動を適宜見直し、ミスなどによる不正に陥らないよう、データ管理を含めた適切な対策を行うことが求められています。また、近年のオープンサイエンス推進の流れを受け、発表される論文の根拠となる研究データを即時公開することに加え、再解析可能なデータなどを広く共有するような動きも進みつつあり、研究者や研究組織がその運営管理上求められる対策は今後も増えると予想されます。本講演では、この様な近年の状況について、その背景を含めて言及しつつ、研究不正に関する近年の事例や不正認定の動向と、不正に繋がる行動としてのQRPを理解し特定不正行為に繋がるリスクを低減する為の考え方に加え、特に今後、データ管理上必要とされる対策についても話題を提供します。

## 講師：

オカバヤシ コウジ

**岡林 浩嗣 氏**

国立大学法人 筑波大学  
生存ダイナミクス研究センター

(一般財団法人公正研究推進協会 医生命科学系分科会委員)

## 略歴：

1995年 東京大学 農学部水産学科 卒業  
2000年 東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 修了〔博士(学術)〕  
2000年 理化学研究所 脳科学総合研究センター 研究員  
その後、助手や博士研究員として複数機関で発生学・幹細胞生物学研究に従事  
2009年 東京大学大学院 総合文化研究科 細胞・器官制御講座 特任講師  
2010年 日本チャールス・リバー株式会社 フェロー/スペシャリスト  
2011年 筑波大学 生命環境系 講師(生命領域学際研究センター)  
2025年 現在に至る

## 日時：

**2026年 2月 17日 (火) 15:00~16:00**

▶オンライン講演 (Formsから申し込むと開催URLが自動配信されます)

## 申込Forms：

<https://forms.office.com/r/nQT2fsdcp6>

## 申込QRコード



## 対象：

島根大学の全教職員、学生

## お問合せ先：

島根大学 研究・地方創生部 研究推進課

Tel: 0852-32-6012 (内線2148 出雲キャンパスからは9-2148)

Mail: [rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp](mailto:rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp)

